Japan Center for Asian Historical Records (JACAR)
Reference Code: B18100159600

A-7105-1

アジア局長 殿

参事官

第四課長

昭和三十二年四月十二日

在タイ
特命全権大使 澁沢信一

外務大臣 岸信介殿

タイ國援緬軍召還に関するサリット元帥談話報告の件

國務大臣兼陸軍総司令官サリット元帥は十日附緬甸より帰国後記者団と会見し、援緬軍召還に関し左の如く述べたる趣なるが、右は援緬軍撤兵に対し近くタイ國援緬軍を召還せしめんとする意向を明かにしたるものにして、援緬軍撤兵の完了後援緬軍召還に着手する旨を明かにしたるものと思考せらる。

タイ國政府としては援緬軍撤兵の完了後援緬軍を召還すべきことは勿論なるも、援緬軍撤兵の時期に関しては緬甸政府の意向を尊重する方針なるが如し。

在外公館

アジア局 32.4.20 総務課
アジア局 32.4.22 総務課
外交 32.4.15
828 帳丁 325

0448

信頼を寄せ居るが如く、緬甸はタイ國が同盟国として一層親善を要する国なるが故に、タイ國の援助に期待すること多大なるべく、タイ國の国際的地位と発言力を高めることとなり、タイ國の援緬軍撤兵完了後援緬軍召還に関しても緬甸政府の意向を尊重することとなるが如く、援緬軍召還に関しては

Japan Center for Asian Historical Records (JACAR)
Reference Code: B18100159600

結論に達している（ロ）政界の一部にも本件撤兵に関し賛同の意を表しているので近く関係諸国に呈示する考えであると述べ韓国派遣費として米国がタイの為に立替えた債務の総額は約億バーツと思われる米国政府より債務支払に付再三督促を受けているがタイ軍隊は一切を挙げて国連軍と協力し朝鮮を援助して来た次第もあり小国で貧乏国たるタイ国としてはこの種債務を返済する要なしと考えていると語った趣である

右サリットの結論に対する反響左の通り

（1）国防省参謀長チラ陸軍大将談

援韓軍の撤兵に付ては英国の先例もあり「浪費」を削減する意味合では賛成であるが現在朝鮮の情勢

在外公館

が安定しているとは云えず将来のこともあり最終的な決定をする前に政府は国連当局と協議すべきであると云う

（2）エコノミスト党（左派）議員ナイキャオ談

サリット元帥の提唱する朝鮮よりの撤兵を全面的に支持するタイの援韓兵は戦争がなくなって結構太平楽をきめこみ近頃は手当が多いので帰国したがらないと聞いている早々撤兵すべきであると云う

右何等御参考迄報告する

在外公館

RA'-0177
0370
外交史料館
Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan